



第16705号  
海員組合

一人の不注意  
みんなの大事 船内生活  
一人ひとりが責任者

### 看護・介護労働「黒書」を公表 つわりで吐きながら夜勤も

**事例104連労医** 日本医労連は人手不足などで過酷さが増している職場実態を訴えようと、労働者の生の声を集めた「看護・介護労働黒書」をまとめ発表した。31県から700人を超す報告が寄せられ、そこから104の事例を「黒書」にまとめた。

#### ●親が死んでも休めず

職場に余裕がないため、子どもを産むのも容易ではない。

東京都内の病院で働く看護職員は、妊娠中の勤務で何度も吐いてしまい、夜勤の免除を申し出たところ、「みんな妊娠しても、産休直前まで夜勤をやってもらっている。あなただけ特別にはできない。吐いてもやってもらわないと夜勤が組めない」と言われた。

愛知県の看護スタッフは「実の親が亡くなっても、(同僚に)迷惑をかけてしまうと、仕事(夜勤)に来た人もいる」という。

#### ●患者の命に関わる問題

循環器病院の不整脈を扱う病棟で働く看護職員(茨城県)は、34人の患者に2人夜勤体制で対応している。緊急入院があつて夕食が真夜中0時を過ぎることや、朝食が取れないこともしばしば。最近もこんなことがあつたと記述した。

「患者の血管の穿刺(せんし)部Ⅱ注射針を指した部分Ⅱのガーゼ交換を行った際、大量出血。看護師1人が圧迫止血しつつ、医師が来るまで残り1人で患者25人のナースコールに対応しなければならなかった。致死性不整脈がい

つ起きるか分からない病棟での2人夜勤は、本当に危険だと思えます」

#### ●10年目で手取り15万円

介護現場からは、低賃金や危険な1人夜勤の実情が報告されている。

「10年以上働いているが、手取りは15万円以下。子どもを塾にも行かせてあげられない。旅行も貯金もできない」(高知県の介護福祉士)などの声だ。

秋田県内で定員16人の施設に勤める介護職員は、16時間を超える1人夜勤に就いている。「認知症のない方はまづいない。2時間の休憩時間があつても、1人夜勤でどう取れというのでしょうか」とコメントした。

医労連はこうした切実な声を広く伝え①医療・介護労働者の大幅増員②少な過ぎる夜勤の人員配置基準の見直しと1人夜勤の禁止③1日8時間労働と最低でも12時間の勤務間インターバル設定などの労働環境改善を図りたいと訴えている。(連合通信から)

## わたしもひびく

### 感謝

小豆郡小豆島町 濱脇悦子  
40年社会に(郷土料理の指導等で)貢献できたのも自家用(車)のおかげと思います。事故なし85歳まで頑張りました。感謝しております。子どもたちに笑われないように頑張ってきました。私の人生悔いはなし。ありがとう。

(ジャンボフェリー)